

概要	<p>本大会の競技規則は、一部ローカルルールを除き、 JTUが定めるトライアスロン競技規則(2019年1月改訂版)に準ずる</p>
カテゴリー	<p>TRI1-6の旧カテゴリーを適用する。(2013ITUルール17章) カテゴリーの確定していない選手は 当日競技説明会前に 本レースの為にクラシフィケーションを受ける。(当日8:30~艇庫にて)</p>
競技内容	<p>スイム0.75km バイク19.2km ラン4.8kmを連続で行いタイムを競う。  スイム1周回 バイク8周回 ラン2周回 (バイク.ラン同一コース) バイク.ランは同一コースを使用する <u>キープレフト</u> コーナー.折返しでの追い越しを禁止する)</p>
制限時間	<p>制限時間はスタートから スイム競技45分 総合2時間30分とする。</p>
ドラフティング	<p>本レースはドラフティング禁止レースである。  ドラフティングエリアは前輪先端より後方10m 違反は1分のタイムペナルティーをランコース上のペナルティーボックスで受ける。</p>
ペナルティー	<p>タイムペナルティーはペナルティーボックスで10秒間とする。 ペナルティーボックスはランコース上に設置する 該当の選手は自主的にペナルティーボックスに入ること 悪意の違反 危険行為は失格の対象となる。 該当の選手がペナルティーボックスに入らずフィニッシュした場合は失格となる。</p>
ハンドラー・ガイド	<p>パーソナルハンドラー、ガイドは原則として自己手配とする 本大会は異性のハンドラーを認める。 大会側はスイムエグジットアシスタント・ハンドラーを用意する。 この場合必要な場合のみ、可能な範囲で実施</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①義肢や他の補助具に関する支援</li> <li>②ハンドサイクルや車椅子への乗降の支援</li> <li>③ウエットスーツや衣類の脱衣</li> <li>④バイクをラックにかける</li> <li>⑤トランジション.ホイールストップでの簡易な自転車の修理</li> </ol>
競技説明会	<p>当日の競技説明会への参加を義務とする。(ガイド・パーソナルハンドラーも同様) 遅刻・欠席は事前にTDへ連絡すること その場合トランジション1でタイムペナルティーを受ける。</p>
バイクチェック	<p>使用するバイクについて トランジション預託時に目視によるバイクチェックを行う。</p>
ウエア・用具	<p>全選手は大会側提供のスイムキャップを使用すること ウエットスーツ使用について JTU競技規則による (参考 2018 5/27 気温 25.4℃ 水温 22.2℃) 水温28℃以上着用禁止 水温18℃以下着用義務 ウエットスーツの使用可否はスタート1時間前に 管理棟前公式ボードに掲示する。 レースナンバーは、バイク競技は背面、ラン競技は前面につけること、 ハンドサイクルはハンドサイクルの背面に貼り付ける 指定箇所へのボディーマーキング 及び ヘルメットステッカーを貼ること</p>
計測	<p>計測用チップを使用する(周回チェック・競技パートタイム・合計タイム・安全管理)</p>
トランジション	<p>トランジションエリアはスイムアップより約10mの場所に設置される。 マウントラインの手前での乗車・ディスマウントラインを過ぎての降車には、 警告と是正をうながす。 是正されない場合ペナルティの対象となる。 TRI1選手のマウントライン・ディスマウントラインでの行動 ライン前で完全に止まりTOの「ゴー」の指示でレースを再開する。 バイクフィニッシュ時はバイクをラックにかけてからヘルメットのストラップを外すこと</p>

スイムキャップの種別 赤 :スイム出口からトランジションエリアまで持ち上げられて移動する必要がある。  
黄 :スイム出口からトランジションエリアまで歩いたり  
走ったりして移動する 際に支援が必要である。  
緑 :スイム出口でいかなる支援も必要ない。  
白 :ガイドが使用

競技の変更.中止 競技エリアの状態 天候等により競技内容の変更 中止をする場合がある。  
その場合 その内容を 競技1時間前に管理棟前公式ボードに掲示する

パラトライアスロン 競技規則 ■スイム

750mx1周回

コース スイムは 1周750mのコースとする。  
スタート スイムスタートはフローティングスタートを採用する(カテゴリー毎のスタート)  
全選手はポンツーンに接触している状態でスタートを待つ。その後「オン・ユア・マークス」  
と発声される。発声後に、スタートの合図としてホーンが鳴らされ選手は競技を開始する  
TRI6 :選手はスイム中、自身のガイドと紐でつながれていなければならない

エードステーション スイムスタート・アップ箇所に給水エードを設置する

パラトライアスロン 競技規則 ■バイク

2.4kmx8周回

コース バイクは 周回コースを 8周する 19.2kmとする 別紙コース図参照  
基本 キープレフトを基本とし、右側に追い越しエリアを確保する  
斜行等の危険走行、ブロッキングは、ペナルティーの対象とする  
急カーブ箇所 TRI1 TRI6の選手が止まった場合は、スタッフが最低限の補助を行える  
ラン競技コースと重複する箇所では ラン競技者の右側を配慮の上追い抜くこと。  
周回チェック 周回終了の誘導は、行わない。各自で周回数を確認すること  
計測用タイミングチップでの周回確認を行う。

エードステーション コース上に3カ所 給水エードを設置する 安全に停止した選手への手渡しのみとする。  
ホイールストップ ホイールストップを1カ所設置する 別紙コース図参照  
スタート10分前までに預託すること 以降 競技中の預託は認められない。  
大会側で簡易の修理キットを用意する

パラトライアスロン 競技規則 ■ラン

2.36kmx2周回

コース ラン競技はバイク競技と同じコースを2周回する4.8kmのコースとする  
\*1周目2.359m 2周回目→総合フィニッシュまで 2.400m  
基本 キープレフトを基本とし、右側に追い越しエリアを確保する  
急カーブ箇所・坂道でTRI1の選手が止まった場合は、スタッフが最低限の補助を行える。  
エードステーション 周回コース上に3カ所 給水エードを設置する。  
TRI6 :選手はラン中、自身とガイドを紐でつながなければならない

その他

用具の運搬 ・アスリートラウンジで預託したもの(レースナンバー記入のこと)  
トランジションで指定のかごに入れたものはスタッフがリカバリーエリアまで運搬する  
・TRI1選手の移動用車椅子はフィニッシュエリアに運搬する。  
会場内の移動 ・大会側で会場内移動用エンジンカートを用意する。(4人乗りオープンカート)  
必要な場合 大会本部もしくは競技説明会打ち合わせ時に申し出ること。  
その他 大会会場内では 刺青(タトゥー)は露出させないように隠すこと  
トランジション・コース・フィニッシュ・リカバリーエリアへの盲導犬の立ち入りを禁止す